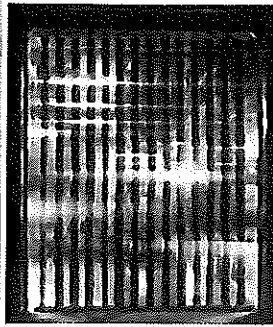
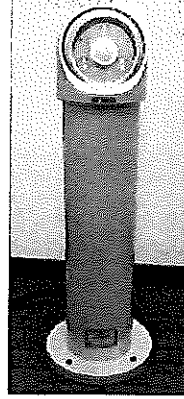


大成ファインケミ



LEDで工場外誘虫

殺虫せず 侵入防ぐ 90%以上駆除可能

【千葉 大成ファインケミカル 千葉原田市、稲生専入社長は、工場などへの虫の侵入を防ぐ誘虫発光タイオード(LED)装置「オプトリウム」を開発した。建屋外に設置して光を照射することで、虫を殺さずに遠ざける。参考価格は消費税抜きで25万円から。約5億円の市場を見込み、春をめどに販売を開始する。2026年までの販売目標は2000台で、食品工場を中心に拡販する。

高さ60センチ以上で上部との距離に近づくと自動誘虫LEDを搭載する。ドラックヤードなど工場建屋の出入り口から10メートル離れた屋外に設置して誘虫照明を放射し、虫が建物に近づく前に遠ざける。夜間の使用を想定したタイマー機能、オプトリウムから2メートル以内の範囲で虫を誘引する。オプトリウムは1985年から食品工場向け防虫システム「オプトロン」シリーズの製造を開始。販売網は全国に広がる。オプトロンの開発に着手したのは約8年前。虫を誘導する光の強度や放射角度などの技術で20年5月に特許を取得した。同社の実証実験によると、オプトロンが虫の侵入を防ぐ確率(防虫率)は約80%という。オプトリウムを組み合わせて使用すれば防虫率を90.1%に向上できる。稲生社長は「着想から約35年。虫も殺さない。がコンセプト」とし、高い防虫率を誇りつつも誘虫するだけで殺虫しない特徴を訴求する。近年、食品・医薬品工場では食品衛生管理基準「HACCP」を守るため、防虫を求めるところが多い。一方で、殺虫灯を夜間点灯すると音響、清掃作業の増加など課題があった。

高さ60センチ以上で上部との距離に近づくと自動誘虫LEDを搭載する。ドラックヤードなど工場建屋の出入り口から10メートル離れた屋外に設置して誘虫照明を放射し、虫が建物に近づく前に遠ざける。夜間の使用を想定したタイマー機能、オプトリウムから2メートル以内の範囲で虫を誘引する。オプトリウムは1985年から食品工場向け防虫システム「オプトロン」シリーズの製造を開始。販売網は全国に広がる。オプトロンの開発に着手したのは約8年前。虫を誘導する光の強度や放射角度などの技術で20年5月に特許を取得した。同社の実証実験によると、オプトロンが虫の侵入を防ぐ確率(防虫率)は約80%という。オプトリウムを組み合わせて使用すれば防虫率を90.1%に向上できる。稲生社長は「着想から約35年。虫も殺さない。がコンセプト」とし、高い防虫率を誇りつつも誘虫するだけで殺虫しない特徴を訴求する。近年、食品・医薬品工場では食品衛生管理基準「HACCP」を守るため、防虫を求めるところが多い。一方で、殺虫灯を夜間点灯すると音響、清掃作業の増加など課題があった。